

解答

- (1) 3 (2) 1 (3) 2 (4) 1 (5) 2
(6) 3 (7) 1 (8) 3

A の解説

(1) Why will participants be divided into two groups?

正解:3

選択肢の和訳

1. 写真家が、初心者より少人数のグループで教えることを希望している。
2. 一部の参加者が、ほかの参加者よりかなり遅れて到着する。
3. 展示室が、全員が快適に集まるには十分な広さではない。
4. 博物館が、参加者に別々の日にイベントへ参加してほしいと考えている。

第 1 段落に “the main exhibition room cannot accommodate such a large group comfortably” とあります。つまり、展示室では約 50 人という大人数を快適に収容できないため、2 つのグループに分けることになりました。したがって 3 が正解です。

1 は professional photographer の語に引っ張られやすいですが、写真家の希望については書かれていません。2・4 も本文にありません。

(2) Why is flash photography prohibited?

正解:1

選択肢の和訳

1. 強い光が、展示されている一部の物に影響を与える可能性がある。
2. 参加者はイベント中、携帯電話だけ

を使うことになっている。

3. フラッシュ撮影が、プロ写真家の講義を妨げる可能性がある。
4. 博物館では、来館者が展示物を撮影すること自体を許可していない。

第 2 段落に “flash photography will be prohibited because some objects on display are sensitive to strong light” とあります。be sensitive to ～ は「～の影響を受けやすい」という意味です。したがって 1 が正解です。

2 は phones or cameras を使用できるので誤りです。3 は講義への影響ではありません。4 も、写真撮影そのものは禁止されていません。

(3) What does Michael ask Sarah to do?

正解:2

選択肢の和訳

1. 自分のカメラを持参する必要があると参加者に知らせる。
2. 案内表示を準備し、機器が正常に作動しているか確認する。
3. プロ写真家に講義の予定を変更するよう依頼する。
4. どの参加者を 2 つのグループのどちらに入れるか決める。

第 3 段落に “prepare two signs” と “confirm that the cameras in the lecture room are functioning properly” とあります。つまり、「案内表示の準備」と「機器の作動確認」の 2 つを依頼しています。したがって 2 が正解です。1・3・4 はいずれも Michael が Sarah に依頼している内容ではありません。

A 本文全訳

Sarah さんへ

来週末の写真イベントの準備を手伝ってくださり、ありがとうございます。当初は約 30 人の参加者を予想していましたが、50 人近くが登録しました。メインの展示室ではこれほど大人数を快適に収容できないため、参加者を 2 つのグループに分けることにしました。

一方のグループがプロの写真家による短い講義を受けている間、もう一方のグループは博物館内を見て回り、写真を撮ります。40 分後、2 つのグループは活動を交代します。参加者は携帯電話またはカメラを使用できますが、展示されている物の中には強い光の影響を受けやすいものがあるため、フラッシュ撮影は禁止されます。

それぞれのグループがどこに集合するのかを示す案内表示を 2 枚準備してもらえますか。また、講義室のカメラが正常に作動していることを確認する人も必要です。可能であれば金曜日の午後に確認してください。そうすれば、技術的な問題があった場合でも、それを解決するための十分な時間を確保できます。

よろしくお願いします。

Michael Grant

イベント担当

Eastwood Museum

B の解説

(4) What is the main purpose of “libraries of things”?

正解:1

選択肢の和訳

1. 人々が購入しないかもしれない便利な物を、一時的に利用できるようにする。

2. 住民に古い持ち物をより頻繁に買い替えるよう促す。
3. 図書館が不要になった機器を販売する。
4. 実用的な技能について、より長い時間読書するよう人々に勧める。

第 1 段落に “Their purpose is to give residents temporary access to useful objects without requiring them to purchase everything themselves.” とあります。すべてを購入しなくても、必要な物を一時的に利用できるようにすることが目的です。したがって 1 が正解です。

2 はむしろ本文の考え方と逆です。3・4 については本文に書かれていません。

(5) Why is borrowing especially useful for certain objects?

正解:2

選択肢の和訳

1. そのような物は普通の店では購入できないことが多い。
2. 短期間や特定の機会にしか必要としない場合がある。
3. 図書館ならメーカーより安く提供できる。
4. ほとんどの家庭には、それらを使用するための十分な知識がない。

第 2 段落に “objects that people need only occasionally” とあります。さらに、1 回の家の修理に使うドリルや、家族のお祝いに使う大きな鍋が例として挙げられています。つまり、たまにしか必要としない物なので、借りることが有効なのです。したがって 2 が正解です。

1・3・4 はいずれも本文では理由として述べられていません。

(6) How might these programs benefit the environment?

正解:3

選択肢の和訳

1. 新しい製品を製造する必要をなくすことができる。
2. メーカーに再生材料だけを使うよう促す。
3. 物を共有することで、必要となる製品の数減らせる可能性がある。
4. 家庭が持ち物を捨てることを防ぐ。

第3段落に “If several households can share the same item, fewer products may need to be manufactured.” とあります。複数の家庭が同じ物を共有すれば、新しく製造する必要のある製品数を減らせる可能性があります。したがって3が正解です。

1の eliminate は「完全になくす」という強すぎる表現です。本文は fewer products としているだけです。2・4も本文の内容とは一致しません。

(7) What challenge do libraries face when lending physical objects?

正解:1

選択肢の和訳

1. 機器を点検し、安全に貸し出せるかどうかを考えなければならない。
2. 住民に借りた本を返却するよう説得するのが難しい。
3. すべての利用者に専門的な修理サービスを提供しなければならない。
4. 一度使用された貸出機器を交換しなければならない。

第4段落に “Equipment must be inspected regularly”、さらに

“Libraries must also determine which objects can be lent safely.” とあります。「機器の点検」と「安全に貸し出せるかの判断」の両方をまとめた1が正解です。

2は books についての問題ではありません。3・4も図書館にそのような義務があるとは書かれていません。

(8) Which of the following is true?

正解:3

選択肢の和訳

1. 「物の図書館」は、主に毎日使う物を対象としている。
2. 図書館は、住民が必要としている物を調べる前に大規模な品ぞろえを用意すべきである。
3. 便利な物の貸し出しは、経済面と環境面の両方で利点をもたらす可能性がある。
4. 実物の貸し出しは、本よりも図書館にとって管理しやすい。

第2段落では、必要な物を借りることで “avoiding unnecessary purchases” ができるという経済的な利点が述べられています。また第3段落では、物を共有することで製造する製品数を減らせるという環境上の利点が説明されています。したがって3が正解です。

1は only occasionally と反対です。2も本文では “begin with a limited collection” とあるため逆です。4も、実物の貸し出しには本にはない challenges があると述べられているため誤りです。

B 本文全訳

本以外の物も貸し出す図書館

公共図書館は伝統的に、本や新聞などの情報源を提供してきました。しかし近年、一部の図書館では、工具、楽器、さらには調理器具など、意外な物まで貸し出すようになっています。こうした取り組みは「物の図書館」と呼ばれることがあります。その目的は、住民がすべての物を自分で購入しなくても、便利な物を一時的に利用できるようにすることです。

この考え方は、人々がたまにしか必要としない物に特に適しています。例えば、一度だけ家を修理するためにドリルが必要になったり、家族のお祝いのために大きな鍋が必要になったりすることがあります。そのような物を購入すると費用がかかり、その後何年間も使われないままになるかもしれません。借りることで、不要な買い物を避けながら、必要な物を利用することができます。

こうした取り組みには環境上の利点もあります。消費財を製造するには原材料やエ

ネルギーが必要であり、捨てられた物はごみの増加につながります。複数の家庭が同じ物を共有できれば、製造する必要がある製品の数減らせる可能性があります。また、借りた物の使い方や修理方法を住民に教える講習会を開いている図書館もあります。

しかし、実物を貸し出すことには、普通の本にはない課題があります。機器を定期的に点検する必要がある、破損した物は交換に多額の費用がかかる場合があります。また、どの物なら安全に貸し出せるのかを図書館が判断しなければなりません。そのため、うまくいっている取り組みでは、通常は限られた品ぞろえから始め、職員が地域社会で実際に何が必要とされているのかを理解してから、徐々に規模を拡大していきます。